

今後の検討の進め方と 中長期的な検討事項について

国土交通省都市局
街路交通施設課
令和5年2月24日

今後の検討の流れ

短期(R4)

中期(R5～)

長期

理念の整理

まちづくりにおける駐車場政策
の論点整理
(R4検討会とりまとめ)

個別の検討事項の深堀

関係制度の見直し

【現行で可能】

- 「まちづくりと連携した駐車場
施策ガイドライン」に反映・更新

【引き続き議論】

- 引き続きの検討テーマ、具体的
な検討事項等の整理

- 個別の検討事項について、
WG等を必要に応じて設置し、
具体事例も扱いながら、各々
詳細検討を進める
- 検討状況は、随時検討会の場
で共有

- まちづくりにおける駐車場政策
に関する基本的な考え方の整理
- 現行制度の見直すべき事項の
整理

これからのまち(都市)における
適正な駐車場の“つくり方”“つかい方”

次年度以降の検討イメージ

R4年度

R5年度

R6年度以降～

(本日)

第3回検討会

- ・「まちづくりと連携した駐車場施策ガイドライン」更新案の検討
- ・次年度以降の検討事項の整理 等

検討会(2～3回程度)

- ・理念の整理、全体検討
- ・WGからの状況報告
- ・関係団体・事業者等からの話題提供
— 最新の技術動向、優良事例 等

- ・検討内容のとりまとめ
- ・次年度以降の進め方の検討

検討会＋WG

- ・継続して検討すべきテーマ
- ・新たに設定すべきテーマ
等を引き続き検討

個別の検討テーマごとのWG開催

【テーマ(案)】 (2テーマ × 2～3回 程度)

- ① 駐車環境の質的向上 (整備・マネジメントのあり方)
- ② 駐車場の安全対策の強化 (施設管理・更新のあり方)

関係団体、事業者等への
ヒアリング(随時)

+

《本日の主な論点》

- ・検討テーマの妥当性、各テーマで検討すべき論点、検討にあたっての留意事項
- ・ヒアリングすべき関係団体、事業者等
- ・中長期的に検討すべき事項 等

① 駐車環境の質的向上（整備・マネジメントのあり方）

質の観点も踏まえた駐車環境の整備・充実や、新技術や既存ストック等を有効活用した駐車場の管理運営・マネジメントについて検討

目標イメージ

- ・駐車場整備計画、駐車場整備地区、附置義務制度の見直し
- ・地域ルール、負担金・協力金等の駐車場マネジメント施策の展開
- ・多様な利用ニーズを踏まえた情報発信にかかる指針の策定、管理規程例の見直し 等

検討の進め方

- ・大都市、地方都市など地域分類に応じた実態把握、検討（ケーススタディ）
- ・駐車場の有効活用・転用（コンバージョン）を促進するための制度設計 等

関係分野、キーワード

荷捌き、観光、バリアフリー、多様なモビリティ（自転車、原付、自動二輪、スローモビリティ等）、シェアサービス、エリアマネジメント、都市・住宅開発 等

論点イメージ

- | | |
|--------------------------------------|-------------------------------|
| ・対象とすべきエリア、上位計画との整合性の考え方 | ・多様なニーズへの対応（バリアフリー、シェアサービス等） |
| ・総合的な駐車需要の把握・推計方法、附置義務の目的・用途や原単位の見直し | ・地区マネジメント、負担金・協力金制度、地域ルールのあり方 |
| ・駐車場の規模・配置計画、路上・路肩・路外の役割分担 | ・エリア内でのデータ連携、きめ細やかな情報提供のあり方 |
| ・地方公共団体の責務、公民の役割分担の考え方 | ・駐車場の転用・柔軟な利活用 |
| ・多様なモビリティの駐車環境の確保（荷捌き、観光バス、原付、自動二輪等） | ・デジタル（DX）、グリーン（GX）への対応 等 |

②駐車場の安全対策の強化(施設管理・更新のあり方)

老朽化施設の更新や適切な維持管理手法、デジタル技術の活用やGX・DX等の新たな時代に対応した技術基準等、安全対策の強化について検討

目標イメージ

- ・機械式駐車設備に係るガイドライン等の改訂
- ・構造及び設備の基準の見直し、新たな技術基準の制定
- ・適切な維持管理・更新を促すための仕組みの構築 等

検討の進め方

- ・既存施設の稼働状況や保守点検等の安全対策にかかる実態把握
- ・最新技術を活用した保守点検等の安全対策効率化に向けた検討
- ・GX、DXの進展をふまえた安全対策の検討 等

関係分野

- ・機械設備、デジタル・IT技術(自動運転含む)、駐車場メーカー、自動車メーカー 等

論点イメージ

- ・既存の機械式駐車設備の更新、保守点検の効率化
- ・小規模パーキングにおける安全性の確保(ハーモニカ構造対策、歩行者の安全性確保等)
- ・EV車普及にあたっての安全対策・技術基準の見直し
- ・AVP(自動バレーパーキング)等の新技術導入にあたっての安全対策の考え方 等